

事業実績書

団体名	宮野地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 総括

みんなにやさしいのびゆくまちづくりを基調として、交付金を活用した地域課題の解決に向けた活動を進めている。特に、宮野を名実ともにサクラの里にしようと樹木の保護や保育に取り組んできたことにより、自然に親しむ体験学習の場としての機能強化が図られている。また、歴史文化の掘り起こしのための写真展や緊急時の対応に備えるための講習会や世代間の交流事業の開催を通じ誰もが活動に参加していける仕組みづくりを目指す。

2 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	1, 538, 427
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長、事務職員1名 計2名 (運営費の主な内容) 事務局員給与・労働保険料及び事務費(需用費・役務費)、 (成果・評価) 事業項目が多く、当初、計画した事業を全ては実施できなかった。 (今後に向けて) 地域支援マネージャーの配属が無くなれば、選任の事務局長を配置することが必要である。よりスムーズに事務局運営を行うため体制を強化していきたい。

(2) 地域振興

事業名	新たな公共ニーズへの対応(コミタクのダイヤ改正に伴う時間表張替え工事等)
事業費	197,242
事業概要	(実施内容) コミタクのダイヤ改正に伴う時間表張替え工事およびチラシの印刷(2, 153枚) (実施時期) 平成22年12月 (成果) コミタク利用者への利便性が向上した。 (評価) 高齢化する地域の足としてのコミタクの利用が増加した。 (今後に向けて) コミタクの路線の拡充を進めていきたい。

事業名	新たな公共ニーズへの対応(県立大学と地域住民との交流会)
事業費	63, 391
事業概要	(実施内容) 県立大学と地域住民との交流会(官・学・民との連携) (実施時期) 平成22年11月 (参加人数) 50人(地域住民25名、学生25名) (成果) 地域住民と学生との相互交流 (評価) 相互理解が進展し、学生が災害時のボランティアや宮野祭り等への参加が増加した。 (今後に向けて) 地域づくりへ学生の参加を期待したい。

事業名	地域活性化推進事業
事業費	527,030
事業概要	<p>(実施内容) 公共の施設の整備充実と機能強化及び広報活動の強化</p> <p>(実施時期) 平成22年4～23年3月</p> <p>(参加人数) 不特定多数</p> <p>(成果) 交流センター周辺の屋外照明設備の整備により、夜間の安全対策と防犯に役立った。</p> <p>(評価) 夜間の集会に参加し易くなった。</p> <p>(今後に向けて) 地域づくり事業の活性化には、利活用が容易な庁舎が不可欠である。</p>

事業名	広報活動
事業費	300,300
事業概要	<p>(実施内容) 地域広報紙「宮野だより」に地域づくり協議会の情報を入れ込むとともに、紙面充実(一部カラー紙面)を図った</p> <p>(参加人数) 5,400所帯へ配布</p> <p>(成果) 広報誌「宮野だより」の紙面充実と各種パンフレットの印刷により情報の伝達ができた。</p> <p>(評価) 地域住民の情報の共有化が進展した。</p> <p>(今後に向けて) 広報活動のより充実した方法をさぐる。</p>

事業名	地域資源発掘事業
事業費	0
事業概要	<p>(実施内容) 地域資源を発掘し、事業化のための情報収集を実施等。</p> <p>(実施時期) 平成23年3月</p> <p>(参加人数) 0人</p> <p>(成果) 中止</p> <p>(評価) 同上</p> <p>(今後に向けて) 地域資源発掘・事業化のための協議をしていきたい。</p>

(3) 地域福祉

事業名	地域福祉に関する講演会
事業費	20,160
事業概要	<p>(実施内容) 宮野クリニック院長による「高齢者が最高の生き方を求めて」と題して講演会実施。</p> <p>(実施時期) 平成23年1月29日</p> <p>(参加人数) 95名</p> <p>(成果) 高齢者が生きがいのある生活を送るためのアドバイスを得ることができた。</p> <p>(評価) 生活習慣の改善により自立した生き方を送ることが大切であることが自覚できた。</p> <p>(今後に向けて) 既設の生きがいセンターを利用した事業を実施する。</p>

事業名	子どもと高齢者の交流
事業費	20, 127
事業概要	<p>(実施内容) 子どもと高齢者が交流して、宮野の昔の遊び(独楽回し、凧作り)と注連縄作りに挑戦した。</p> <p>(実施時期) 平成22年12月27日</p> <p>(参加人数) 60名</p> <p>(成果) 子どもと高齢者がふれあい、昔の遊びとお正月を迎える技の伝承ができた。</p> <p>(評価) 高齢者の知恵と技を生かした生きがい対策に最適である。</p> <p>(今後に向けて) 宮野のわらべ歌や昔話などを掘り起こし、子供たちに伝承したい。</p>

事業名	地域福祉に関するパンフレットの作成
事業費	70, 780
事業概要	<p>(実施内容) 「ひとりで悩まないで、すぐに相談!!」と題したパンフレットの作成。</p> <p>(実施時期) 平成22年12月</p> <p>(参加人数) 宮野地区全世帯に配布。(6, 300部作成)</p> <p>(成果) 生活する上での悩み事の相談先や電話番号が明記されたパンフレットの作成。</p> <p>(評価) 独居者が、随時必要に応じて相談先へ連絡が可能である。</p> <p>(今後に向けて) パンフレットの作成に満足することなく、きめ細かな対策を構築したい。</p>

事業名	AED・普通救命講習会の開催
事業費	3, 480
事業概要	<p>(実施内容) 山口市消防本部の講師によるAED・普通救命講習会の開催</p> <p>(実施時期) 平成22年12月4日</p> <p>(参加人数) 42名</p> <p>(成果) AED・普通救命に関する技術を習得した。</p> <p>(評価) 救急救命の重要性が理解され災害時での対応が期待される。</p> <p>(今後に向けて) 災害時に地域住民が対応できる体制を整備したい。</p>

(4) 安心・安全

事業名	反射鏡設置事業
事業費	0
事業概要	<p>(実施内容) 交通安全確保のための反射鏡の設置に対する助成</p> <p>(実施時期) 平成22年4月～23年3月</p> <p>(参加人数) 0人</p> <p>(成果) 地域からの設置要望が無</p> <p>(評価) 同上</p> <p>(今後に向けて) 設置箇所の選定確保のため、自治連合会との連携を強化したい。</p>

事業名	自然災害に関する講演会
事業費	10,000
事業概要	<p>(実施内容) 山口大学 金折教授による地震発生のメカニズムと山口県内及び宮野周辺の活断層に関する講演会の実施</p> <p>(実施時期) 平成22年11月28日</p> <p>(参加人数) 85名</p> <p>(成果) 地震発生のメカニズムの理解と、地震が発生したときの正しい心構。</p> <p>(評価) 身近な場所に活断層があることを地域の住民が共通認識できた。</p> <p>(今後に向けて) 地震発生時の身の安全対策と普段の防災訓練及び家庭の防災対策の強化</p>

事業名	危険箇所パトロール・子ども安全パトロール
事業費	32,880
事業概要	<p>(実施内容) 通学路周辺の危険箇所や自然災害予想箇所の凶化に向けての確認作業及び子ども守り隊の組織見直し。</p> <p>(実施時期) 平成23年2月・3月</p> <p>(参加人数) 20人</p> <p>(成果) 危険箇所や自然災害発生が予測される場所の凶化準備作業及び子ども守り隊の組織について地域で再認識できた。</p> <p>(評価) 地域住民が危険箇所や自然災害が予測される場所を共有できる。</p> <p>(今後に向けて) 危険場所等での危険回避のための対応策を講じる。パトロールの強化。マップの作成、見守り時用のウェア等の作成</p>

事業名	地域環境整備
事業費	0
事業概要	<p>(実施内容) 強風時に、民家に倒伏の危険がある樹木(クヌギ)の枝条剪定。</p> <p>(実施時期) 平成23年3月</p> <p>(参加人数) 1名</p> <p>(成果) 機械を設置するための地権者調整により中止。</p> <p>(評価)</p> <p>(今後に向けて) 予算を繰越実施したい。</p>

(5) 環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	1,121,000
事業概要	<p>(実施内容) 法定外公共物の整備。</p> <p>(実施時期) 平成22年4月～23年3月</p> <p>(参加人数) 22人</p> <p>(成果) 法定外公共物の整備を3箇所行った。</p> <p>(評価) 同上</p> <p>(今後に向けて) 地域内の要望を把握し、随時対応していきたい。</p>

事業名	土木工事(単市土地改良)
事業費	3,975,000
事業概要	(実施内容)単市土地改良事業の実施。 (実施時期)平成22年4月～23年3月 (参加人数)50人 (成果)単市土地改良の整備を6箇所行った。 (評価)同上 (今後に向けて)地域の要望を把握し、随時対応していきたい。

事業名	さくらの里づくり
事業費	1,061,116
事業概要	(実施内容)木戸山公園のサクラの改植及び荒谷ダム湖周辺のでんぐ巣病防除 (実施時期)平成22年12月～23年3月 (参加人数)45人 (成果)木戸山公園のサクラの植樹と荒谷ダム湖周辺のでんぐ巣病罹病樹の防除 (評価)でんぐ巣病樹を放置しておくこと、本病の感染源となることから防除は適切な処置である。 (今後に向けて)今後とも継続して桜の保護に努力していきたい。

事業名	木戸山公園整備
事業費	120,850
事業概要	(実施内容)木戸山公園内に自生する樹木に解説文を記した樹名板を設置した。 (実施時期)平成22年10月 (参加人数)5人 (成果)木戸山公園内の来園者(自然観察会等)に正しい樹木名を周知できる。 (評価)宮野地域の住民が、自然に親しみ自然を理解する場としての機能が強化された。 (今後に向けて)地域内の自然体験学習の場として活用したい。

事業名	国体花いっぱい運動サポート
事業費	339,264
事業概要	(実施内容)山口国体を地域で盛り上げるために、花いっぱい運動を展開する。 (実施時期)平成22年4月～23年3月 (参加人数)5,400世帯 (成果)全世帯に2種類の種子を配布するとともに、センター周辺の環境緑化を実施した。 (評価)地域の環境緑化意識の高揚と普及啓発に寄与した。 (今後に向けて)国体の開催期に併せて各家庭、職場、学校、会場を花で飾る。

事業名	地域環境整備事業
事業費	49,875
事業概要	<p>(実施内容)市の原材料支給制度で対応できない部分で、地域住民が自主的に行う里道の舗装等の修復に要する原材料を支給した。</p> <p>(実施時期)平成22年5月～23年3月</p> <p>(参加人数)竜花町内会</p> <p>(成果)自治会の自主的な作業により舗装の補修が実施された。</p> <p>(評価)今後の地域づくりにおける模範的な事業として他地域への波及が期待できる。</p> <p>(今後に向けて)地域の自助努力による事業展開を助長させたい。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	ニュースポーツ大会の開催
事業費	62,095
事業概要	<p>(実施内容)キンボールやテーブルガラッキー等のニュースポーツを普及する。</p> <p>(実施時期)平成23年2月～3月</p> <p>(参加人数)70人</p> <p>(成果)小中学生及び高齢者を対象としたニュースポーツの普及を行った。</p> <p>(評価)キンボールは、競技方法等の指導者を養成することが必要である。</p> <p>(今後に向けて)キンボールは小学生に、テーブルガラッキーは高齢者向けに普及したい。</p>

事業名	新山口市合併記念登山大会
事業費	79,800
事業概要	<p>(実施内容)合併を記念して白石山(旧徳地町)及び十種ヶ峰(旧阿東町)で登山を実施した。</p> <p>(実施時期)平成22年9月・11月</p> <p>(参加人数)65人</p> <p>(成果)他地域の自然体験と体力づくりに役だった。</p> <p>(評価)里山の登山を通じて、体力と気力の充実が、生きがいに通じることが体感できた。</p> <p>(今後に向けて)広域合併により、多様な自然探訪と社会体験ができるので今後も実施したい。</p>

事業名	文化伝統行事支援
事業費	303,022
事業概要	<p>(実施内容)祇園祭り・宮野ホテル祭り・岡の原天神祭り等地域の伝統行事への参加と支援</p> <p>(実施時期)6月・7月・11月</p> <p>(参加人数)4,500人</p> <p>(成果)地域の活性化と伝統文化の伝承に役立った。</p> <p>(評価)年々参加者が増加しており、地域の3大イベントとして定着してきた。</p> <p>(今後に向けて)自主的な企画・活動に対しては地域の活性化の上から支援したい。</p>

事業名	宮野ウォーキングマップの作成
事業費	149,940
事業概要	(実施内容) 宮野名勝巡回絵図を改訂し、多くの人が興味をもてるよう充実を図った。 (実施時期) 平成23年3月 (参加人数) (成果) ウォーキングが楽しめるような解説文を記載したほか新たなコースを設定した。 (評価) ウォーキングで宮野の里を再発見するのに役立つ。 (今後に向けて) ウォーキングによる、「宮野の里めぐり」を年2～3回開催する。

事業名	夏休み子どもアウトドアクッキング
事業費	52,500
事業概要	(実施内容) 21世紀の森キャンプ場で、ドラムカンを利用したピザ作りと自然観察会を実施。 (実施時期) 平成22年7月 (参加人数) 30名 (成果) 森のなかで、手作りピザを焼き、観察会で食の楽しさや自然を体感できた。 (評価) 野外活動を通じて家庭とは異なったことが体験できる。 (今後に向けて) 子どもたちの自然体験活動を活性化したい。

事業名	宮野名所旧跡等説明板設置
事業費	117,600
事業概要	(実施内容) 知られていない名木や名所旧跡などに解説板を設置、また注意看板を設置した。 (実施時期) 平成22年5月～23年3月 (参加人数) (成果) 宮野駅前のカイツカイブキの解説板や榎野川の錦鯉を保護する看板等設置 (評価) 今後の「宮野の里めぐり」ウォーキング等に活かせるほか観光開発に活用する。 (今後に向けて) 解説板の未設置箇所を調査し、順次設置したい。

事業名	宮野お宝写真コンテスト
事業費	95,646
事業概要	(実施内容) 宮野の歴史・文化・自然を題材とした写真コンテストを実施し写真展を開催した。 (実施時期) 平成22年8月～23年2月 (参加人数) 写真応募者数20名。写真展観覧者数150人 (成果) 宮野地域のすばらしさが表現された写真69枚の応募があった。 (評価) ふるさと宮野の多彩な歴史・文化・自然が再発見できた。 (今後に向けて) 引き続き写真コンテストを開催し、地域づくりに活用したい。

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。